

益田市社協 **あんしん生活支援センター**

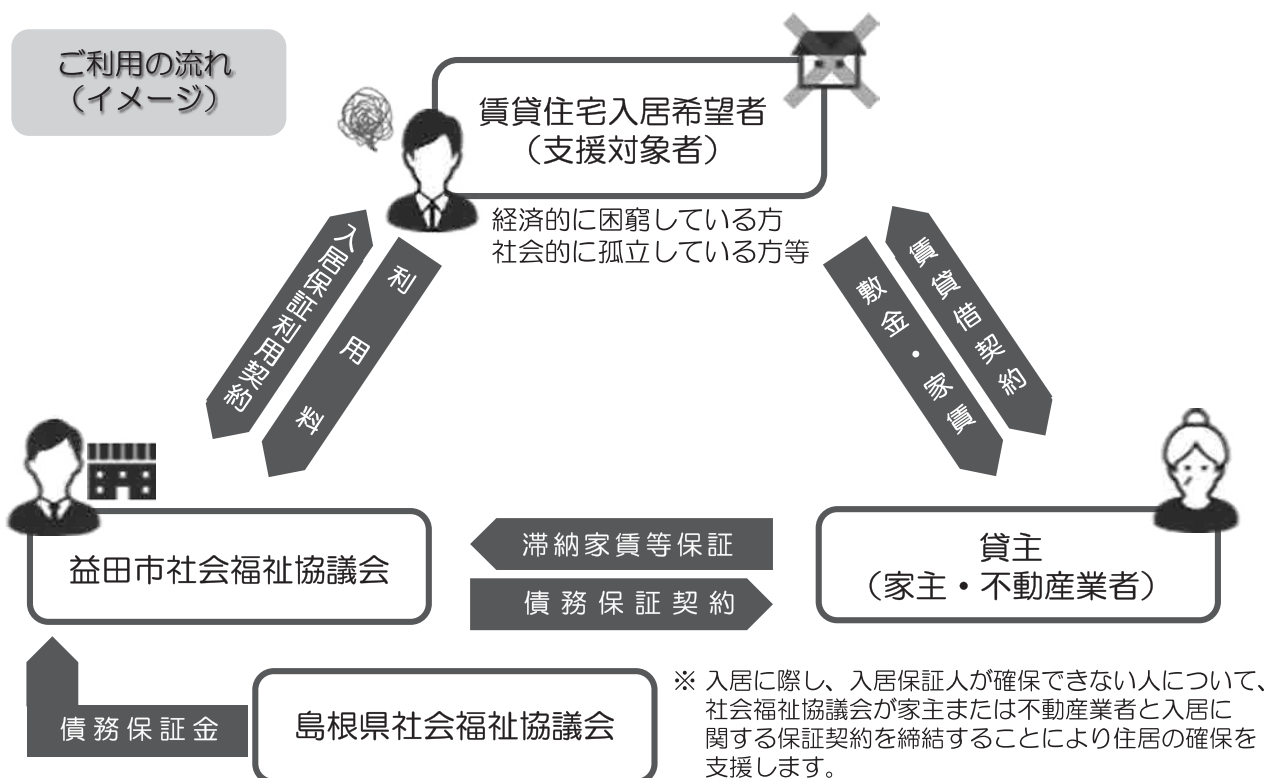
相談専用フリーダイヤル **0120-062-301** (月～金 8:30～17:30)

生活の中のいろいろな“困った”についての相談に応じています。



入居債務保証支援事業 について

入居債務保証支援事業とは、家賃について継続的に支払いができる方で、賃貸住宅に入居する際の保証人がいないために住居の確保ができない方を対象に滞納家賃等を保証する制度です。(利用料、一定の要件、保証の限度があります。)



3月・4月の相談日

どんなことでも、
まずはご相談ください。
いっしょに考え、解決へのお手伝いをいたします。



※弁護士は都合により変更になる場合があります

無料法律相談
時間:13時～15時

3月14日(金) 4月11日(金)
山本 尚 弁護士 谷川 円 弁護士

ふれあい福祉相談
時間:10時～15時

3月14日(金) 4月11日(金)

老人・ひとり親相談
時間:10時～15時

3月14日(金) 3月28日(金)
4月11日(金) 4月25日(金)

令和7年度 ボランティア活動保険 受付開始しました！

ボランティア活動中のさまざまな事故による
けがや損害賠償を補償します！！



- ◎加入対象者 益田市ボランティアセンター(益田市社会福祉協議会)に登録されている
ボランティアグループ、個人ボランティア ※毎年更新が必要です
- ◎補償期間 令和7年4月1日～令和8年3月31日 中途加入の場合、加入翌日から
令和8年3月31日までが期間となります
- ◎保険料 年間 350円/1人 ※要件を満たした団体には保険料の一部を助成します

ボランティア保険に関する
お問い合わせはこちら

益田市ボランティアセンター

☎ 0856-23-6954

✉ volunteer_msd@masuda-shakyou.or.jp

令和8年度 赤い羽根共同募金助成事業募集中！

受付期間：令和7年4月1日（火）～4月30日（水）

益田市共同募金委員会では、誰もがみな住みなれた地域で安心して暮らしていくために、
地域を良くしていこうと活動しているボランティア団体や福祉団体に対して助成を行っています。



事業実施期間

令和8年4月1日～令和9年3月31日

※令和8年度事業が対象となりますのでご注意ください

助成額

事業費の3/4以内で30万円まで
及び助成額が10万円以下の場合は全額が対象

申込・問合せ

益田市共同募金委員会

(益田市須子町3-1 ☎0856-22-7256)

※申込は所定の申請書にて受け付けます。詳細は益田市共同募金委員会
までお問い合わせください。

善意の輪 (令和6年11月1日～令和6年12月31日) 敬称略

ご寄附ありがとうございます。地域福祉活動事業費や、福祉
基金積立の原資として、大切に活用させていただきます。

【香典返し】

(故) 金山 昇 須子町 金一封

(故) 橋村キヨコ 小浜町 金一封

(故) 三宅 剛弘 飯田町 金一封

(故) 皆元 泰徳 本町 金一封

(故) 寺田 省三 土田町 金一封

岡崎 拓 有田町 金一封

(故) 領家 敬典 安富町 金一封

【香典返し】

田原 秀行 大草町 金一封

椋 誠一 安富町 30,000円

大賀 友寿 喜阿弥町 金一封

(故) 高橋 洋子 高津六丁目 金一封

(故) 松本富士夫 木部町 金一封

(故) 大庭セツ子 安富町 金一封

(故) 齋藤 光俊 美都町仙道 金一封

【香典返し】

(故) 三浦 勇 美都町仙道 金一封

【一般寄附福祉事業へ】

益田東中八期同窓生 金一封

NAF 竹田屋の 欽ちゃん焼き 浜田市 熱田町 5,000円

カラオケかつちゃん 火脚 勝人 美都町丸茂 金一封

健康長寿しまね 魅力ある健康づくりを目指して



令和6年度 健康づくり活動表彰 受賞団体(益田市)

- 👑 島根県知事賞 種地区保健班
- 👑 健康長寿しまね推進会議会長賞(県会長賞) 美濃地区健康を守る会
- 👑 益田圏域健康長寿しまね推進会議会長賞 駅前いきいき会(小野地区)

昨年末、合庁で令和6年度健康づくり活動表彰式が行われました。益田市からは3団体が受賞、特に種地区保健班は40年超に渡って活動を継続してきたことが高く評価され、島根県知事賞という最高の賞を受賞されました。美濃地区健康を守る会、小野地区の駅前いきいき会もそれぞれが長年の、地域とのつながりを活かしながらの活動を高く評価されていました。

健康づくりを一人で継続して取り組むのはなかなか難しいことですが、地域の住民同士で声をかけあい、地域の中で自分の役割を持つことが、心身の健康を保つのに必要なのだと受賞団体の皆様の活動から学ばせていただきました。受賞団体の皆様、この度は本当におめでとうございました。

< 鎌 手 > 新春は水仙の香りとともに…水仙の里かまてウォーク

今年も新春の鎌手にたくさんの人々が集いました。

『水仙の里かまてウォーク』は今年で22回目を迎え、地域住民や東陽中学校の生徒さんたちの尽力もあって、益田市の1月の恒例行事としてなくてはならないものとなっています。

残念ながら、今年は水仙の開花時期が少しずれてしまったため、一面に咲き乱れる水仙の白い花を楽しむところまではいかなかったのですが、これから咲く水仙のつぼみを愛でつつ、東陽中学校生が企画準備をしたスタンプラリーをしながら歩く道のりは長さを感じないほどでした。

自分のペースで歩き終わった後は、地元の人たちが用意してくれた具沢山の豚汁が振る舞われ、ウォーキングを楽しんだ人たちは口々に「美味しい」「疲れたけど、楽しかった」等と楽しそうに感想を述べていました。

(東部圏域生活支援コーディネーター:河上)



67年つづく善意のバトン ～ 益田市ともしび基金 ～

1958年(昭和33年)、「雲さん」と名乗る方から市内の報道機関に「恵まれない人に渡してください」との手紙と共に寄付がありました。それをきっかけに始まった「益田市ともしび基金」は67年の間ずっと途切れることなく続いています。

昨年、雲さんからは高齢になったこともあり、活動に一区切りをつけるとの申し出もあったのですが、嬉しいことに今年もまた雲さんから『継続』を力に、自身の生活信条「感謝」の気持ちを大切に「雲さんの定期便」を復活させていただいた』とのお手紙と寄付をいただくことができました。

「益田市ともしび基金」の募金箱は、益田署や市役所、総合福祉センターなど市内11か所に設置され、寄せられた浄財は、市内の災害遺児、要保護世帯の子どもたちにお年玉として届けさせていただいています。ご協力くださる皆さまには心より感謝申し上げます。

一人でも多くの方に本募金運動の趣旨をご理解いただき、雲さんと共に末永く活動が続けられますよう、皆様からの引き続きのご協力をよろしくお願いいたします。



サロン活動を楽しもう!!

みなさんは『サロン活動』という言葉聞いたことがありますか？自分が住んでいる地域の住民たちで集まって、何か楽しいことをする！それがサロンです！

サロンで行う活動には「これをしなければならない」ということはありません。みんなで健康づくりのための体操をしてもいいですし、グラウンドゴルフをしても、小物づくりをしても、みんなで料理をしてお昼を一緒に食べても、ただお菓子を食べてのんびりおしゃべりをするだけでも良いのです。

益田市社会福祉協議会は、地域のひとたちが集まって楽しいひと時を過ごすこのサロン活動を応援しています。活動に必要な費用を助成したり、ユニバーサルスポーツ用具などの貸出を行ったり、福祉バスを運行したり、困りごとの相談に応じたりもしています。

今、時々なんとなく集まって気の合う仲間と楽しくおしゃべりをしているけれど、もっともっとこの楽しい時間を充実したいな～、と思っているあなた。住んでいる地域にみんなが楽しく集える場所を作りたいと考えている皆様。社協といっしょにそれを実現させてみませんか！？



ふれあい・いきいきサロン

概ね65歳以上の方が対象。身近な地域とのつながりを強め、生きがいづくり、仲間づくりの輪を広げることで健康でいきいきとした生活の実現をめざします！



ふれあい・子育てサロン

子育て家庭を中心とし、みんなが無理なく自由に集い、子育ての悩みや情報交換、保育所や幼稚園以外の地域の中での新たな仲間づくりなど、地域ぐるみでの子育て支援をめざします！



サロン活動助成金をご活用ください！

- 1年目…65,000円
- 2、3年目…30,000円
- 4、5年目…15,000円
- 6年目以降…10,000円

サロンに関するご相談・お問い合わせは益田市社会福祉協議会 ☎ 0856-22-7256 まで

<匹見> 雪の中の保育所



今年も匹見に雪が積もりました。ここ匹見保育所の子どもたちは雪が大好きです。1月14日、真っ白な園庭でカラフルなスキーウェアを着た園児たちが、伝統行事である「とんど焼き」を行いました。お正月に飾ったしめ縄や書初めを燃やして今年の無病息災をみんなで祈りました。

軒下の氷柱は寒風に吹かれ、季節を五感で楽しむ匹見の保育は厳しくも暖かい自然と一体となって営まれています。

(匹見保育所)



**匹見保育所
ホームページ**
を開設しました!!

<https://hikimi-hoiku.jp/>

自然の中でのびのびと成長している子どもたちの日常の一コマをぜひご覧ください!



<東仙道> 老人クラブと園児の餅つき体験! (東仙道保育所)



1月中旬に東仙道保育所の園児と地元の老人クラブ合歓の会の会員さんが臼と杵を使った餅つきを体験しました。東仙道保育所は10年前から合歓の会と交流しており、この他にも芋の苗植えや味噌作り、お茶摘みなど様々な体験活動を行っています。

この日は大きい園児たちは自分で杵を持ち、合歓の会の方たちの合いの手に合わせてお餅をつきました。小さい園児たちは先生に抱っこしてもらったり、杵に手を添えてもらいながらお餅つきを楽しみました。ついたお餅はみんなで丸めて、お昼ご飯でいただきました。きな粉と醤油のお餅があり、子ども達は食べたい味をリクエストして笑顔でほおばっていました。

(美都圏域生活支援コーディネーター:鍛冶畑)

<東仙道> 地域で30年以上続くイルミネーション



11月下旬に東仙道小学校のヒマラヤシーダー(ヒマラヤ杉)がライトアップされました。このライトアップ事業は東仙道やる気会の方が30年以上続けて行っています。

『東仙道やる気会』は有志の方が作られた団体で、結成当初は約30人でしたが現在は15人です。40年以上地域で活動が続けておられ、8月には四つ山城のライトアップ活動もされています。ライトアップされたヒマラヤシーダーは東仙道小学校の校庭に70年以上立っており、このイルミネーションは国道からも見えることから、通る人たちの目を引いています。

ライトアップは毎年1月初旬辺りまで続けられています。

(美都圏域生活支援コーディネーター:鍛冶畑)

